

草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	タイ王国
2. 事業名	「健康長寿」長野県佐久市の地域包括ケアを活かしたタイ、チョンブリ県サンスク町における多職種連携による高齢者ケアプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	タイの高齢化率（65歳以上人口割合）は10.5%であり、日本の26.7%に比べると低値であるが、地域ではすでに脳血管疾患を起因とする寝たきり高齢者が多く見られる。第1フェーズでは、サンスク町に在宅ケアシステムを導入したが、要介護高齢者の数に対し専門職の数は極端に不足しており、更には生活習慣病の予防や認知症対策が不足しているため、今後も高齢者ケアへの負担増が予想されている。先の事業の成果を拡大し、さらに自立運営により活動を継続するために、①地域のヘルスボランティアへの介護研修カリキュラムの導入や、②佐久地域が実践している生活習慣病予防対策の定着化、③大学、医療機関等の専門職を効率よく有効活用し、佐久市企業とともに現地での福祉機器のニーズを確認する。
4. プロジェクト目標	地域で寝たきりゼロ作戦を展開するため多職種からなる高齢者サポーターチームを現地で養成できるシステムが構築される
5. 対象地域	タイ、チョンブリ県サンスク町
6. 受益者層	サンスク町のヘルスボランティア 約200人、サンスク町、ブラパ大学、ブラパ大学病院および協力病院の保健医療職（医師、看護師、セラピスト（理学療法士、作業療法士ら）、栄養士等）チョンブリ県内の企業関係者、地区のリーダー約100人
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療・介護推進委員会を形成するメンバーからなる高齢者ケア・地域ネットワークが効率的に管理される。 2. 寝たきりゼロを目指し、脳血管疾患を防ぐため専門職、HVsが育成される。 3. 寝たきりゼロを目指し、疾患別リハビリテーションの知識・技術を身に付けたHVsが育成される。 4. 認知症予防活動が地域で展開される。 5. デイケアセンターの活動を通して、家庭や施設で使用できる福祉機器の情報が佐久市及びチョンブリ県の関連企業間で共有される。
8. 実施期間	2020年1月～2020年9月、2021年11月～2024年2月（約3年）
9. 事業費概算額	66,511千円
10. 事業の実施体制	<p>日本側：佐久市、佐久大学、佐久市立国保浅間総合病院、JA長野厚生連佐久総合病院、一般社団法人佐久産業支援センター</p> <p>タイ側：サンスク町、ブラパ大学、ブラパ大学病院、サティハート病院他</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	学校法人佐久学園 佐久大学（提案団体：長野県佐久市）
2. 活動内容	<p>2014：佐久大学とブラパ大学が学術交流協定を締結</p> <p>2014 - 2015：「高齢者ケア・ネットワークづくりと健康調査」を実施（トヨタ財団）</p> <p>2015～現在：「保健・医療のつばさ事業」に実施し、海外の研修生受け入れに協力</p> <p>2016.1 - 2018.12：JICA 草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)「タイ、チョンブリ県における町ぐるみ高齢者ケア・包括プロジェクトーサンスク町をパイロット地域として」</p>